野市小校長室便り　第3号　R6. 6. 11

のいち

文責：萩野　志津

●**学校教育目標**
笑顔と「ありがとう」があふれる学校

●**こんな児童にしたい**
- ◆ 思いや考えを表現する子
- ◆ 自分や友だちを大切にする子
- ◆ あきらめないでがんばる子

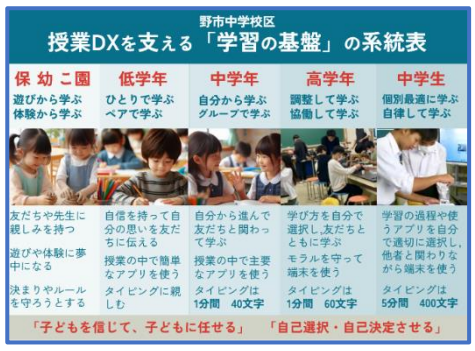
野市中学校区保幼小中連携部会　教職員総会

5月28日に野市中学校で「野市中学校区保幼小中連携部会　教職員総会」が開催され、本校からも教職員が授業参観・協議・総会等に参加しました。

どのクラスも1人1台端末が活用されており、落ち着いた雰囲気で学習に取り組んでいました。

授業後の協議や総会では、野市中学校区で統一する取組が確認されました。生徒指導の共通実践としては、「あいさつ」「掃除」「時間」、そして、授業づくりの共通実践としては「目指せ！聞く達人」として、3つのレベルが示されました。

また、授業DXを支える「学習の基盤」の系統表も共有し、今後各校で取り組んでいきます。下の写真でご確認ください。



全校集会の話から・・・

5月の全校集会では、「スリッパの整頓」についてお話をしました。

各学年が主に使用しているトイレのスリッパの状態を写真に写し、低学年から順番に提示していきました。スリッパが反対向きになっていたり、線から少しはみだしていたり、見事に整頓されていたりと様々でした。写真を提示するたびに児童からは、「「やったー。」「おしい。」「きれい。」と歓声があがりました。

いよいよ最後に6年生が主に使用するトイレの写真です。「うわー。ばらばら・・・。」

でも安心してください。数分後、再度見に行ってみると、誰かがそろえ直してくれていて、いつもの6年生のトイレの状態に戻っていました。

集会後には、自分の分だけでなく、他の人の分までスリッパを整頓してくれている子ども達の姿をよく見かけました。また、自主的に運動場や学校の周りのごみを拾って持ってきてくれた子ども達もいてびっくりしました。そんな子ども達の様子を、6月の全校集会ではお知らせすることができました。

みんなが気持ちよく過ごせるように、一人一人が気を付けていければ、笑顔があふれる野市小学校になると思います。そして、そんな「のいちっ子」が大人になった時、さらに素晴らしい社会になっていくんだと信じています。

防災意識を高めましょう！

6月6日に、地震を想定した避難訓練を実施しました。また、6月27日には、防災参観日・引き渡し訓練を予定しています。

先日、開催された香南市人権教育研究協議会の人権講演では、「釜石の軌跡」で知られる釜石東中学校の当時中学生であった山本　若菜さんが講師として招かれていました。釜石東中学校は津波浸水想定区域外だったそうです。しかし、実際はその想定を超え、被害がありました。もしかしたらと考え、迅速に行動することで小中学校の児童生徒と教職員全員が無事避難することができたそうです。その体験から、生きていれば再会することができると信じ「津波てんでんこ」で逃げることや、遠くに逃げるではなく高いところに逃げることを教えていただきました。

地震はもちろん、様々な自然災害はいつ、どこで起こるかわかりません。子ども達自身が最善な行動をとることができるよう、今後も避難訓練を行い、防災意識を高めていきます。